

独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院 第4回地域連絡協議会 議事録概要

平成 29 年 3 月 23 日(火)	13:30-14:30	相模野病院7階 講堂
会議の招集者	相模野病院長 大井田 正人	
会議の種類	第4回 相模野病院地域連絡協議会	
司会者	相模野病院 事務部長 神守 実一	
書記	相模野病院 地域連携室 菊池 紀子	
病院側出席者 (敬称略)	院長 大井田 正人、副院長 野田 吉和、副院長 野田 芳人、副院長 今崎 貴生、事務部長 神守 実一 (司会) 看護部長 佐藤 美樹、医事課長 高井 晃、医療相談員 長塚 裕二、地域連携室 菊池 紀子	
地域委員出席者 (敬称略)	相模原市医師会長 竹村 克二、相模原市病院協会会長 黒河内 三郎 相模原市歯科医師会副会長 寺崎 浩也、相模原市健康福祉局医療課担当課長 清水 紀行(代理) 相模原市健康福祉局保健所医事薬事課長 齊藤 規之(代理) 相模原市社会福祉協議会長 戸塚 英明、相模原市中央地区自治会連合会長 牛尾 良一 相模原市大野北地区自治会連合会長 河本 博、患者代表 高倉 正男	
病院側欠席者	なし	
地域委員側欠席者	相模原市薬剤師会長 小川 護、相模原市消防局副消防局長 佐藤 政美、市民代表 沼倉 孝太 (敬称略)	
1.開会挨拶 大井田院長		
1.議事		
(1)当院の未熟児医療(NICU)と小児救急について		
* 大井田院長		
<p>皆さまご周知のとおり、昨今、相模原市は小児科医不足となっており、当院も同様の状況です。その中であって、当院では NICU、つまり未熟児などの重症例は月に延 400~500 人の患者さんの入院加療をしております。</p> <p>現在当院は神奈川県の中核病院の中核病院となっており、小児科医 4 名体制で診療していますが、大学病院においても小児科医が不足している折、診療体制の維持も困難な状況です。</p> <p>仮に当院の NICU がクローズになれば相模原地域の重症周産期症例の医療はままならず、大きな問題となると思われます。</p> <p>今後は小児科医が多い大学にもアプローチをしていく必要があると思いますので、どうかご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>		
(2)訪問看護ステーションについて		
* 佐藤所長		
<p>現在、相模原市内には 36 ヲ所の訪問看護ステーションがあり、その中で相模野病院附属訪問看護ステーションは昨年 10 月にスタートしました。</p> <p>開設の背景には、JCHO の地域包括ケアの取り組みにおいて訪問看護体制を強化することが重点課題に挙げられている経緯があります。</p> <p>当ステーションの理念は「地域で療養する方が住みなれた場所で、その人らしく生活できるよう、質の高い心のこもった訪問看護の提供に努めます」としています。</p> <p>開設後約半年が経過したところですが、実績を含めて当ステーションの活動報告をさせていただきます。</p> <p>実績として、登録者数は 50 名で、指示書依頼医療機関は相模野病院が 7 割で、他の医療機関が 3 割となっています。訪問回数は徐々に増えていますが、訪問看護を受ける患者さんは重傷者や高齢者が多く、入院・入所や死亡のケースもあるため一気に増えてきてはなりません。現在の訪問回数は月平均で一人の患者さんに約 5 回となっています。</p> <p>症例としては、癌の末期の患者さんが多く、酸素投与や内服また排泄などの基本的な機能の低下による体調の悪化が多く見られます。内服管理や排泄コントロールは訪問介護も交えて食事などから配慮し、生活全体を整えることで安定していきます。同時にその状態の変化に対して家族の不安が大きいため、家族への介入も必要です。</p> <p>そこで訪問看護師は、患者の状態変化を医師に伝え、また家族にフィードバックして、入院の見極めなどを行う役割も担っています。このような状況において、家族としては患者状態が悪化した時に相模野病院に緊急入院ができるというのもメリットのようです。</p> <p>相模野病院に緊急入院した患者さんには一定の治療が終わったあとは、かかりつけ医(地域診療所)や訪問診療医との連携によって再度在宅医療へと戻っていただいています。</p> <p>最後に来年度に向けての取り組みについてご説明いたします。</p> <p>地域の診療所・訪問診療医との連携強化はもちろんのこと、最大の目標は 24 時間緊急訪問体制の整備となります。患者さんは、どの時間帯でも「すぐ来てほしい」との思いが強いため、中医協では次回の診療報酬と介護保険の同時改定に向けて、訪問看護師の(特に)深夜の呼び出しの理由についてのデータを集め</p>		

て、議論を開始するとの情報もあります。

そのためには地域訪問看護ステーションとの情報交換が大切ですし、当ステーションのスタッフの増員にも対応したいと思っています。24 時間体制を達成し、地域の医師にとっても使いやすい訪問看護ステーションを目指したいと考えています。

*** 寺崎歯科医師会副会長より**

相模原市歯科医師会では、18 名の訪問専門の歯科衛生士が施設に出向いて口腔ケアを行っています。訪問看護にプラスして歯科衛生士の口腔ケアによって、訪問回数が増えることで患者さんたちは安心しますし満足度の向上にも繋がります。

そのためにも訪問看護ステーションの目標にもありました「連携強化」を共に進めていきたいと思っています。また病院の周術期患者さんの口腔ケアの連携も重ねてお願いします。

→佐藤所長

義歯の患者さんも多いので、こちらこそよろしく願いいたします。

(3) 患者満足度調査結果について

*** 神守事務部長 ***

相模野病院では患者満足度調査を以前より実施しておりましたが、昨年度より JCHO 統一様式に変更されました。JCHO は全国に 57 病院がありますが、全ての病院で同じ内容、同じ時期にアンケートを行うことで、より客観的に評価できるものとなりました。

方法と対象は入院が 2 週間で 113 名。外来が 1 日間で 318 名。回答率は 70%となり、その集計結果ができましたのでご報告します。

アンケート結果は「入院」と「外来」に分かれており、グラフは当院の前年との比較と、全国平均との比較となっています。

・入院について: 良い結果の項目としては「当院を紹介したい」「医師」「看護師」で、改善を要する点は「食事」でした。前年に評価が低かった「看護師間での連携・引継ぎ」に関しては改善し、結果が向上しました。

総合的な「満足度」に対して高評価を得ることができました。

・外来について: 入院に比べ多くの患者さんへの対応となりますが、その業務に追われてしまうことで患者さんの満足度は低くなり、反省しております。今後より一層、丁寧な対応かつ待ち時間を減らすよう努力してまいります。そのほか、駐車場の低い評価については今年度駐車場改築工事中だったためと考えられます。大変ご迷惑お掛けしました。

*** 戸塚英明社会福祉協議会長より**

病院の皆さんはこの待ち時間の評価について納得されていますか？ どの病院でも待つと思います。

→今崎副院長

待ち時間については医師の個人差(人気・診療ペース)も大きく、ご迷惑をお掛けしていると思います。

順番については患者さんの緊急性によって変化することを理解していただければと思います。

*** 黒河内三郎病院協会会長より**

患者さんは受診後に待つことが苦痛と感ずるので、会計などでお待たせないよう改善してほしい。

食事は入院患者さんの大きな楽しみなので重要です。

→大井田院長

以前に比べて外来患者さんの数は(逆紹介が増えたこともあり)減ってきています。診療終了後から会計までの時間は調査し改善していきます。

食事についても季節感あふれるメニューの追加などバリエーションを増やすことや、検食の意見をより効果的に反映させることなどを進めて改善していきます。

(4) 人事異動について

*** 神守事務部長 ***

主な職員の異動について説明。

4 月 1 日に転出する佐藤看護部長挨拶。

(5)その他

* 黒河内三郎病院協会長より

相模原市病院協会では各病院に連携室を充実させていこうと呼びかけています。各種相談の窓口が病院によってまちまちでわかりにくいことがありましたが「連携室」や「相談室」の充実によって解消できると思っています。

昨今、医療を行っていくには、医療制度が大切となっています。その意味においても連携室が充実して活躍していかないと、これからの病院は上手くいかないと考えます。

また、看護師さんや事務の方にも医療制度を勉強して地域医療制度に精通してもらいたいです。

そして先生方には「経営」のことを勉強してもらえるとありがたいです。

→大井田院長

当院も連携室や相談室を総合患者支援センターとして力を入れております。今後は更に充実するよう進めていきます。

* 竹村克二相模原市医師会長より

相模原市医師会では今までも病診連携として「顔の見える連携」を進めてまいりましたが、次のステップとして、電子媒体(ソフト)を使った診療情報の連携を目指しています。診療報酬上の加算の算定についても検討しています。

今後は実現に向けて説明会などを企画していきますので是非ご協力をお願いします。

→大井田院長

以前にも説明を伺っています。今後も引き続き検討させていただきます。

(6)院長挨拶

本日はご多忙の中、長時間に渡り参加いただきありがとうございました。

相模野病院は地域医療機能推進機構の名前の通り、これからも地域の医療に貢献してまいります。

この度頂戴いたしましたご意見につきましては、できる限り実現するよう努力してまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。

(7)事務連絡

* 神守事務部長 *

平成 29 年度の地域連絡協議会の予定です。

第 1 回:平成 29 年 7 月 20 日 木曜日

第 2 回:平成 30 年 2 月 15 日 木曜日